

あーかす

米子医療センターマガジン#41
July 2023 (令和5年7月号)

各診療科紹介

～循環器内科～

～糖尿病・代謝内科～

米子医療センター活動報告

面会開始による喜びの声について

看護の日イベントを終えて

Topics File～栄養管理室の掲示板

DA (ドクターアシスタント) の1日密着取材 !!

地域医療連携室の掲示板

お知らせ

Enjoy! 学生 LIFE



■ contents ■

- 03 各診療科紹介～循環器内科～
～糖尿病・代謝内科～
- 05 米子医療センター活動報告
- 06 面会開始による喜びの声について
- 08 看護の日イベントを終えて
- 09 Topics File～栄養管理室の掲示板
- 10 DA(ドクターアシスタント)の1日密着取材!!
- 12 地域医療連携室の掲示板
- 13 お知らせ
- 14 Enjoy! 学生 LIFE



患者さまと職員が向き合った姿で、患者さま中心の医療提供とYONAGO(米子)の「Y」、MEDICAL(医療)の「M」、CENTER(センター)の「C」の文字を、まごころ、信頼、安心、良質の医療をイメージする「ハート」に組み合わせ「米子医療センター」の明るく元気な姿を表しています。

あーかす

あーかす(Arcus)とはラテン語で「虹」を意味し、英語のArc(弓、橋)+Us(私たち)で「私たちが地域の架け橋になる」という意志を込めてタイトルとしました。私たちの持ついろいろな表情を、地域の方々や医療関係者に広く知って頂き、絆を更に深める情報を掲載してまいります。

循環器内科

診療部長 福木 昌治

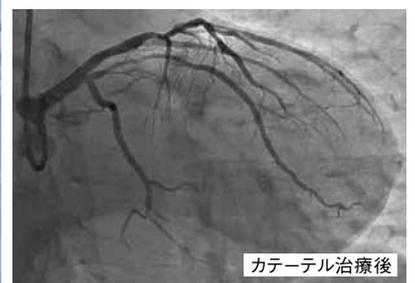
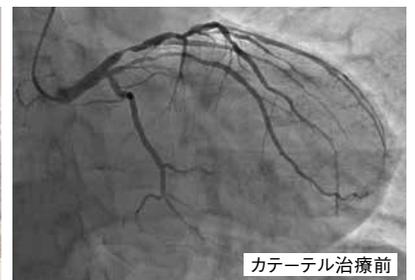


循環器内科はいわゆる心臓病を扱う内科です。心臓病は日本人の死因第2位となっています。

心臓病には、冠動脈の急激な閉塞（詰まり）により発症する急性心筋梗塞や冠動脈の狭窄（狭さ）などによる狭心症などの冠動脈疾患、異常な電氣的興奮による心房細動や期外収縮、頻拍症といった頻脈性不整脈、心拍をコントロールする刺激伝導系の障害による徐脈性不整脈、心臓の働きの低下による心不全などがあります。冠動脈とは心臓の筋肉（心筋）に血液を供給する動脈で、冠動脈疾患の診断や治療には、一般的な胸部レントゲン写真、心電図の他、専門的検査機器として心機能や弁膜症の診断などが可能な心エコー検査、エルゴメータ（自転車ペダル）やトレッドミル（ベルトコンベア状）による運動負荷検査、それに付随して行う放射性同位元素を使った心筋シンチ、また日常生活中心電図を記録する24時間心電図記録器や解析装置があります。

また64列CT（コンピュータ断層撮影装置）を使った冠動脈CT撮影も可能で、外来で検査ができます。そして何より冠動脈疾患の診断と治療には、腕や足の付け根の血管から心臓にカテーテル（管）を入れて行う心臓カテーテル検査・カテーテル治療（バルンや冠動脈ステントを使った治療など）が重要で、急性心筋梗塞に対する緊急対応を含め実施しています。また、洞不全、房室ブロックといった異常に脈拍が低下する徐脈性不整脈に対しては、ペースメーカ治療も行っています。

逆に心拍数が異常に上昇するある種の上室性頻拍症などには、異常な電気回路を焼くカテーテルアブレーション（カテーテル心筋焼灼術）も実績があります。急性あるいは慢性の心不全に対しては、治療成績のよい新薬も登場し活用しています。鳥取大学病院や山陰労災病院など他の医療機関の循環器内科、心臓血管外科とも連携しながら、正確な診断のもと、的確な治療を心がけています。



各診療科紹介

糖尿病・代謝内科

糖尿病・代謝内科医長 角 啓佑

糖尿病内科には小生と石井先生が所属しておりますが、現在石井先生休職中のため小生1人体制で診療を行っております。小生は月～木曜日の糖尿病外来に加え、入院中の患者さんの診療を行っております。金曜日には昨年までと同様、鳥取大学から伊藤先生に来ていただき糖尿病外来を担当頂いております。



「チームで取り組む、良質な血糖管理」

外来診療では、糖尿病の初回指摘の患者さんや、他科診療に際して血糖コントロールが必要な患者さんを中心に診療を行い、血糖コントロールが良好となられた患者さんはかかりつけ医にご紹介させていただくといったように、地域での連携を意識しながら診療を行っております。糖尿病以外では、甲状腺疾患や、副腎不全などの疾患も診療を行っております。

入院診療では、主科として糖尿病教育を行っております。糖尿病を初回指摘された患者さんや、外来で血糖コントロールの悪化した患者さんなどに入院していただき、糖尿病教室への参加などを通して糖尿病に関する勉強をして頂くことや、内服薬の調節や、インスリン注射の導入などを行っています。



「糖尿病について」

ここで、糖尿病(2型糖尿病を中心に)について簡単に触れさせていたきたいと思います。

境界型やその疑い症例を含めると、今や成人の5人に1人は糖尿病と言われる時代です。糖尿病にも様々なタイプがありますが、日本人の糖尿病の9割以上は2型糖尿病です。2型糖尿病とは、遺伝的背景(家系で糖尿病の人が多い)に加えて、過食・肥満・運動不足といった生活習慣が発症に密接にかかわってくる、いわゆる生活習慣病の一つでもあります。そしてこの病気の恐ろしいところは、よっぽど悪くなるまでは症状がなく、悪くなったとしても口渇、多飲、多尿といった軽い症状しか出現しないことが多く、激的な症状は出にくいことです。そのため、患者さん自身が病気を自覚しにくいと、危機感を持ちにくくなるとい

った傾向が往々にしてあります。しかし、適切な治療を行わずに血糖値が高い状態が続くと、全身の動脈硬化が進行してしまいます。その結果として失明、透析、足壊疽、心筋梗塞、脳梗塞といった、命そのものの危機や、あるいは健康寿命を大きく損なうような病気へと知らず知らずの内に進展していく危険性が増えてしまいます。

「治療方法について」

2型糖尿病の治療の3本柱は食事療法、運動療法、薬物療法ですが、前2者が特に重要です。生活習慣病である2型糖尿病の発症や進展には、過食や間食といった食生活、運動不足が大きく関わるからです。私自身、患者さんに説明するときには、治療の土台が食事療法と運動療法で、これでやっても血糖値が高めの傾向があれば、必要に応じて薬物療法でサポートしていきましようとお話することが多いです。あまり怖い話をするのは憚られますが、なぜ治療する必要があるのかについて十分にご理解いただけるように、前述したような病気が知らず知らずの内に進行してしまうのを防ぐためであることをお伝えします。食事療法、運動療法については、個々の患者さんによって内容が異なるため、ここでは詳しくは記載しませんが、これまでの生活習慣を変えていくことは、多くの患者さんにとって、とてもエネルギーのいることであり、相談しながら目標を決めていき、必要に応じてお薬の治療についても相談しています。

「チーム活動について」

さて、糖尿病診療においては、チーム医療が非常に大切だと考えておりますが、当院でも医師、薬剤師、看護師、管理栄養士、理学療法士、臨床検査技師と多職種(コメディカルスタッフ)でチーム医療を行い、質の高い医療の提供を目指しています。糖尿病チームとしての主な活動は以下の通りです。

①糖尿病ケア委員会

月1回委員会を実施し、糖尿病教室の運営、病棟での事案等についての相談、ミニ勉強会などでスタッフの知識向上を図る、といった活動を行っております。

②糖尿病教室

月2回、季節に合わせた糖尿病教育や、運動療法などの指導

を行っています。院内患者さんを対象に行っておりますが、コロナ拡大により少人数開催や、教室中止を余儀なくされたこともありました。

③透析予防外来

糖尿病腎症(尿にタンパク質やアルブミンなどが出してしまう)の患者さんが対象です。専門医の診察と同一日に、糖尿病療養指導士資格を持つ看護師、栄養士、薬剤師がそれぞれの分野で患者さんに指導をさせていただくことで、腎症の進展・透析への進行を予防するための取り組みを行っています。

④糖尿病カンファレンス

毎週1回多職種でカンファレンスを行っています。入院中の糖尿病患者さん、透析予防外来に来られた患者さんについて

指導内容などを振り返り、介入方法や指導の方向性について共有しています。

コメディカルスタッフの資格としてCDEJ(日本糖尿病療養指導士)というものがあり、当院も複数のスタッフが資格を有しております。意欲の高いスタッフの方々に支えられ、良い雰囲気で行う日々の診療をさせていただいていることに感謝しています。

今後も、地域の皆様へ良質な医療を提供できますよう、スタッフ一同精進して参りたいと思いますので、どうかよろしくお願いたします。

米子医療センター活動報告



新採用者職員研修(看護部)

新人看護師8名を よろしくお願いたします！

教育担当看護師長 倉鋪 志子



4月に新人看護師8名を迎えました。全職種対象の新採用者研修から始まり、新人看護師を対象に看護技術などの研修を3日間行いました。看護技術については、原理、根拠をふまえた安全・安楽な基本技術の習得を目指して、副看護師長、認定看護師を講師として研修を計画・実施しました。

今年度の新人看護師は新型コロナウイルス感染症の影響を受けながら学生時代を過ごしてきました。そのためオンライン授業などが多く、実習では感染対策のもとベッドサイドで実習できる時間も限られていました。そのような経験を通し就職してきたので最初は緊張度も高く、同期とのコミュニケーションも緊張気味でした。できるだけ新人看護師の緊張を和らげるような声掛けや、講義では講師と双方向でコミュニケーションが取れるように工夫しながら研修を行いました。講師の質問に対して少しずつ自分たちの考えを声に出したり、演習で体を動かしたりしながら研修を通して笑顔が見られるようになってきました。

マスクを含めた新型コロナウイルス感染対策を継続しながら

らの医療現場の中で、職員間のコミュニケーションをさらに高めながら共に働く仲間づくりを行っていきたくと考えています。赤い名札を付けているのが新人看護師です。地域の皆様に信頼される看護師を目指し、新人看護師とともに成長して参りたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



面会開始による 喜びの声について

面会禁止期間中

2019年に発生した新型コロナウイルスはあっという間に全世界に感染拡大し、日本では2020年に最初の感染者が確認されていました。鳥取県内での発生も避けられず、私たち医療従事者は患者さんを守るために、感染予防に尽力していました。2020年8月6日には面会禁止とし、できる限り接触の場を設けない措置をしてきました。その間、患者さんへの着替えなどは病院1階の医事受付前でご家族が医事スタッフに声を掛け、医事が病棟に連絡し、看護師が1階でご家族から荷物を預かる、といった少々時間のかかる方法で対応しておりました。ご家族には患者さんの様子もお伝えしたかったので、iPad面会を実施。入院病棟と病院1階を繋いで、画面越しで面会をしていただいていた。患者さんはご家族に直接会えなくて残念そうでしたが、コロナだから仕方ないと納得していただけていました。

入院患者さんをはじめご家族の方々やお見舞いに来てくださった方々には大変なご不便をおかけしておりましたが、5類感染症への移行に伴い、5月15日より面会を開始いたしました。患者さんやご家族から喜びの声が届いておりますので、ご紹介したいと思います。スタッフの間でも、面会ができるようになって患者さんの表情が明るくなったと話しています。

iPadでは肌の温もりが感じられませんが、実際に会って、手握ったり状態を把握できてよかった。

面会ありになって、見舞いに来やすくなった。

直接会えて実際に会話することができてよかった。

看護師さんに迷惑かけんですむけん、いいわ。

顔見れると安心できますわ。

面会出来て涙が出るくらい嬉しかった。

会えてとても安心した。

面会出来て涙が出るくらい嬉しかった。

顔が見れてホッとした。ありがとう。

面会出来るようになったのは嬉しいけど、子供に会えないのは辛いな。

コロナ規制が緩和されて、制約がある中ですが会えるようになってほんとによかった。

面会に来て看護師さんや先生と話す機会が多くなった。

ほんとによかった、娘ともう会えないんじゃないかとか色々と考えちゃって、ありがとう。

面会制限中毎日リモート面会に来てたけど、直接元気そうな顔が見れて嬉しい。

実際に顔みて話すのと電話とじゃやっぱり違うね。

面会制限緩和の連絡を受けて、ほんとにうれしい。よかったです。

小児科に入院してるが、お見舞いに来てくれたおばあちゃんの顔を見てご機嫌になった。

顔が見られるようになって話だけするのと安心感が違いますね。

面会できるようになってうれしい。

看護師さんから様子を聞いてもわからないことがあったけど、実際に自分の目で見て話せて様子が知れてよかった。

面会を終えてきたところです。一目顔を見れるだけでうれしいです。ありがとうございます

急変時に医師から呼ばれ顔を見た時と比べると、元気そうになっていて…。実際に会えるのは、いいですね。

面会制限緩和についての お知らせ

新型コロナウイルス感染防止の為、面会には、以下の点にご留意ください。

面会開始：5/15～

面会時間：14:00～16:00

人数：1家族2人まで

所要時間：15分程度

- 必ずマスク着用、手指消毒をして下さい。
- 面会は、面会カードを発行した方のみ可能です。カード発行は、各階ナースステーションにて行っております。
- 面会前は、健康チェックを行います。必ずナースステーションへお立ち寄りください。
- 発熱、風邪症状のある方は病棟へ入れません。

幹細胞移植センター入院患者の方の面会については、ナースステーションでご確認ください。

感染流行状況によっては、面会方法を変更する場合があります。ご協力のほどよろしくお願いたします。



外来 副看護師長 遠藤 朋子

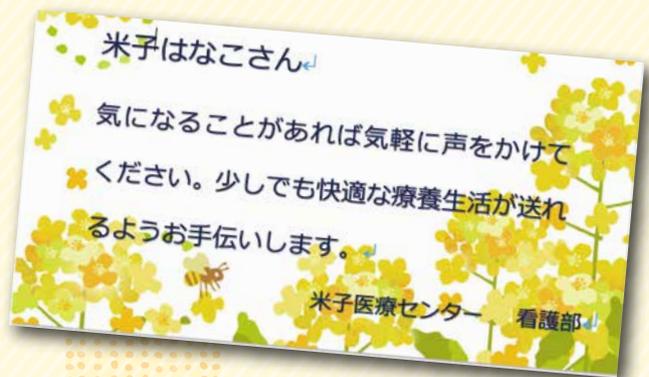


看護の日イベントを終えて

5月12日は「看護の日」です。看護の日は、21世紀の高齢社会を支えていくために、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、一人一人が分かち合い育むきっかけとなるよう、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ1990年に制定されました。

米子医療センターでは、かつては看護の日に血圧測定や健康相談をはじめとした院内イベントを行っていました。この5月よりCOVID-19は5類に移行となりましたが、感染拡大防止のため集合型の企画は避け、看護の日に関する企画をしました。

今年度の看護の日は、5月8～14日の7日間開催しました。院内ポスターの掲示と、入院・定期通院患者さんを対象にメッセージカードを贈りました。ポスターは各病棟と外来、手術室、地域医療連携室が、患者さんのための医療情報を提供する、というテーマで作成しました。その内容は「骨粗鬆症の予防」「快適なお通じのために」「尿路結石ってなに？」など各部署の特色に沿ったもので様々でした。ポスターを目にした患者さんからは「これは看護師さんが作ったの？すごいね」「そうなんだね」などの声が聞かれました。各部署の担当看護師がメッセージを記入し、患者さんへお渡ししました。患者さんからは「ありがとう」「嬉しいな」などの反応があり、中にはポケットにカードを入れ何度も眺められている患者さんもおられました。そのような様子を見て私たちも嬉しく感じるとともに、患者さんの看護に携わる責任を改めて感じました。今後も地域の方々に寄り添える看護が行えるよう取り組んでいきたいと思いました。



栄養管理室の掲示板

栄養管理室 管理栄養士
川上 穂南

夏の風物詩!
さっぱり梅風味
冷やし中華



◇「冷やし中華はじめました」

皆さん、夏が近づくとこのフレーズをよく目にするようになりますか？夏がきたー！って感じですよ。

そもそもこの言葉、いつから言われるようになったのでしょうか。



「冷やし中華はじめました」は、ある意味夏の風物詩とも言えます。夏になると飲食店の張り紙で、このフレーズが掲げられます。冷やし中華は茹でた中華麺を冷水でしめることが特徴です。諸説ありますが、素麺と同じく、夏に食べるものとして印象を持たせたかったため、夏の時期にお店が「冷やし中華はじめました」のフレーズを使うようになったのではないかとされています。

冷やし中華は「中華」とついています。日本が発祥の料理です。昭和4年に発刊された本では「冷蕎麦」という項目があり、これが元祖冷やし中華であり、冷やし中華が全国へ広がったのは戦後になってからのことです。呼び方も地方によって違っており、北海道では冷やしラーメン、関西では冷麺と呼ぶことが多いようです。

そろそろ暑くなる季節。皆さん、「冷やし中華はじめませんか」。

【栄養成分(1人分あたり)】

エネルギー	671kcal
たんぱく質	28g
脂質	30g
炭水化物	62g
塩分	1.5g

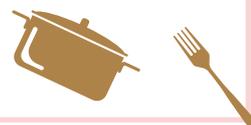
【材料(1人分)】

中華麺	1玉
豚ロース薄切り	80g
きゅうり	1/2本
トマト	1/2個
卵	1個
サラダ油	小さじ1
梅肉	3g
酢	大さじ2
ごま油	大さじ1
砂糖	小さじ2
醤油	小さじ1/4
塩	少々
白いりごま	小さじ2

「梅肉だれ」

作り方

- ①きゅうりは千切りにし、トマトは半月切りにします。
- ②フライパンにサラダ油を熱し、といておいた卵を入れて中火で薄焼き卵を焼き、冷まして千切りにします。
- ③お湯が沸いた鍋に中華麺を入れ、袋の表示通りにゆでてざるにあげ、流水でぬめりを取ります。
- ④再度お湯を沸かし、豚肉を入れ、火が通ったら冷まします。
- ⑤ボウルに梅だれの材料を混ぜ合わせます。
- ⑥器に麺を盛り、①②④の具材を盛り付け、⑤のたれをかけて完成です。



8:30 出勤、勤務開始

おはよー
ございます!

診察開始

午前中は主に外来にて診療サポートを行います。医師・看護師をはじめとする医療従事者と連携して診療がスムーズに行えるよう、コミュニケーションを取りながら進めます。カルテの代行入力(問診・バイタル等)や医師の指示のもと検査や処置などのオーダーや処方を行っています。検査結果の確認をして診察ができる状況を整えたり、検査の案内や次回の診察の案内も大事な仕事のため、午前中はバタバタすることが多いです。また患者さんと医師、看護師と医師、検査技師と医師などの間に入り、連携を取りながら診察を進めるため、コミュニケーション能力が欠かせない仕事です。



医師や看護師、その他職種との情報共有が重要なポイント



ドクターアシスタント

DAの 1日密着取材!!

医師事務作業補助者(当院では「DA(ドクターアシスタント)」の名称)とは、医師の代行として診断書の文書作成や電子カルテへ入力を行い、医師が円滑に診療業務を行えるようサポートする仕事です。今回はこのDAの仕事について、DAリーダーの柱本 奈緒美さんに取材しました。



17:15 業務終了

また明日!



これからも
よろしくお願いします

患者さんに検査の案内や
次回の診察での留意点を
説明します。



12:00 休憩時間

午前中の外来が終了後、順次休憩に入ります。同僚が戻ると「お疲れ～」と声を掛け合います。情報交換を兼ねて皆でコミュニケーションを図ります。

お疲れ～～



診察終了後…



休憩終了後…

13:00 翌日の準備・確認、書類作成、
スキャンセンター業務 (15:00以降)

診察が落ち着いた午後からは座っての作業が多いです。翌日に来られる患者さんの検査やパスに漏れがないか確認をしたり、初診の患者さんの情報を事前にピックアップしカルテ作成を行います。また、当日届いた紹介状の返書や診断書を作成します。診断書は毎月沢山やってきます。締め切りの期限を過ぎないように必死です！

診療科によっては、入院診療計画書や退院サマリー等入院患者に関わる業務や診療に関するデータ整理、統計・調査等の事務作業、カンファレンスの準備等を行います。

スキャン業務

スキャンセンターの補助業務をローテーションで行います。スキャンセンターでは他院からの診療情報提供書や各病棟から届く書類、完成した診断書を取り込みます。また、他院へ情報提供する画像のCD作成を行います。



今日もお疲れ様でした。子育て世代が多く働いているDAなので、仕事を終えてからもまだまだ忙しいです。帰宅してからも沢山の家事が待っています…。



15:00 業務引継ぎ

大半のDAは15時で業務が終了するため、フルタイムの派遣職員さんに残った業務を依頼します。

地域医療連携室の掲示板

地域医療連携係長 吉野 眞由美

「在宅ケア研修会」を開催して 糖尿病の人の食事 ～食事療法の基本～

地域医療連携室では毎年、「在宅看護・介護に生かすための専門知識・技術について学び実践に活かす」をテーマに各分野で活躍している当院の認定看護師を中心に、地域医療に従事されている看護職・介護医療従事者の方を対象に年12回の在宅ケア研修会を行っています。コロナ禍では開催ができなかった研修会も多くありましたが、今年度は4月27日に第1回目の研修会を開催することが出来ました。糖尿病看護についての研修会はなんと3年ぶりとなりました。研修では糖尿病の基礎知識、糖尿病の人の食事療法の位置づけ、高齢の糖尿病の人の食事、血糖値の大きな変動を予防する方法、間食のことについてなど講義形式で行いました。高齢の糖尿病患者さんは低血糖が起こらないよう、血糖値を少し高めにコントロールし、若年・壮年の患者さんのように、20年や30年先を見据えた厳しい血糖コントロールは必要ないという講義を聞き、「厳しい指導ばかりではなく、患者さんの思いに寄り添い、食べることへの楽しみを持ちながら健康管理もしてもらいたい」、「お年寄りの楽しみの食を守りながら指導ができたらと思った」という感想が聞かれました。また「外来患者さんで指導しても老い先短いから・・・とあまり響かない人が多いですが、何か気づきのきっかけになる話が提供できる内容でした」「糖尿病基礎知識、食事療法について聞きやすく、ぱっと知識が入ってきました」と研修全体を通して分かりやすい内容であったと参加者の皆さんからは好評でした。今後も、地域の医療者の皆さんに役立てていただける情報を、研修を通して発信できればと考えております。



第19回 日本医療マネジメント学会 鳥取支部学術集会



多職種連携による チーム医療

2023年 9月 23日 土

会場 独立行政法人国立病院機構米子医療センター

会長 久留 一郎 国立病院機構米子医療センター院長

学会 HP <https://jhm2023-tottori.opal.ne.jp>

学会事務局

国立病院機構米子医療センター 事務部管理課 〒683-0006 鳥取県米子市車尾 4-17-1
TEL : 0859-33-7111 FAX : 0859-34-1580 E-mail : nhoymedc@gmail.com

新入生歓迎会を終えて

新入生歓迎会役員 56回生(2年生)
中澤 飛七



令和5年4月28日(金)午後から新入生歓迎会を開催しました。

去年は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止となりましたが、今年度は感染予防対策を徹底しながら、1年生が早く学校生活に馴染めるよう、学年同士で親睦を深めることを目的に準備を進めていきました。当日は全校生徒を半分に分けて2階教室と講堂に分かれ、開会式と閉会式はZOOMを利用し、2つの教室をつなげて行いました。ゲームを始める前には各グループで、自己紹介をしました。上級生から1年生へ学校や実習でのアドバイスをしている場面も見られて、1年生が学校生活に慣れるよい機会になったのではないかと思います。次にビンゴ大会やクイズ大会を行いました。各グループの3年生や2年生がゲームを通して積極的にコミュニ

ケーションをとってくれていたのも、最初は緊張が見られた1年生も徐々に笑顔で楽しんでいる姿が見られるようになり、よかったです。ゲームの合間にオリジナルポーズでの写真撮影を行いました。各グループで色々なポーズを考えながら撮影に臨んでいました。川上佐代教育主事先生からのお言葉にもあったように、今後も感染予防対策を励行しながら、新入生歓迎会で交流を機に、今後の講義や実習に活かしていくことが大切だと思いました。

少しずつ始まる授業に不安を感じている1年生も多いと思います。ですが、学校には優しい2・3年生や先生方がいます。困ったときはいつでも相談してください。3年間の学校生活がより良いものになるようにサポートしますので、一緒に頑張っていきましょう!



防火訓練

災害時に医療者として 必要と考える行動

57回生(1年生) 橋本 若奈



私が災害時に医療者として必要と考える行動は、まず、災害に備えた準備が重要だと思います。消火器や消火栓の設置場所の確認や避難経路の把握をしておくことで、災害時でもすぐに行動に移すことが出来ます。また、各自で携帯電話の緊急地震速報を設定しておくこと、「おはしもち(おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない、ちかよらない)」などの基本的な知識を付けておくことも必要だと感じました。自分自身の安全管理が疎かになると救える命も救えなくなります。医療従事者としての自覚と責任を持った行動が求められると思うので、日頃からの準備は入念にしておく必要があると感じました。

次に、患者さんの避難誘導です。患者の安全確認を行い、二次被害を防ぎながら誘導します。患者さんが人工呼吸器などの電子医療機器を使用している場合は、急いで駆けつけ、正常に使用できている状態かどうか確認をしなければなりません。エレベーターも使えないため、車いすや担架を備えておくこと、安全に非難するための人手の確保を迅速に行うことが大切だと思います。冷静にその場の状況把握や情報収集ができる能力が災害時に役立つと感じ

ました。

また、災害時に看護師という立場で最も重要になるのが、患者さんの心のケアです。入院で離れている家族の安否の心配や普段とは違う状況への不安など、患者さんの心はいつも以上に弱っていたり、不安定になっていたりすると思います。入院生活に加え、災害によりさらに制限される生活に対するストレスも感じると思います。そのような時に、看護師の一番の役割である心のケアを行う必要があります。コミュニケーションをとり、患者さんの不安な気持ちに耳を傾け、不安を緩和できるような声掛けをするなど、適切な行動をとりたいです。

そのような行動がとれるよう、防災訓練の重要性を理解して、本当に災害が起こった時のことを意識したいです。今日の避難訓練では、煙が出るとどのような視界になるのか、臭いを感じるのかの体験もでき、実際のイメージに繋がりました。また、消火器の正しい使い方の手順や消火栓も見ることが出来て良い経験になりました。避難訓練で災害時の行動の流れが分かったので、このような取り組みは重要だと思いました。



火事だ!
「おはしもち」で
避難!

消火器の使い方も
ばっちり!





診療科	曜日	月	火	水	木	金	備考
総合内科		山本 光紘	加藤 竜平	交替医	山本 光紘	加藤 竜平	
呼吸器内科		富田 桂公	富田 桂公	唐下 泰一	池内 智行	唐下 泰一	
	専門外来		鳥大医師		富田 桂公		
消化器内科		香田 正晴	原田 賢一	松岡 宏至	香田 正晴	松岡 宏至	
		山形 祥世		大山 賢治		原田 賢一	
血液腫瘍内科		足立 康二	足立 康二	足立 康二		足立 康二	完全予約制
	専門外来		前垣 雅哉	但馬史人[第2・第4]		河村 浩二	[診療時間] 13時~14時(予約制)
循環器内科			福木 昌治	福木 昌治		福木 昌治	
	専門外来	福木 昌治			久留 一郎		[診療時間](月曜日): ペースメーカー外来 13時30分~予約制 [診療時間](木曜日): 高血圧・高尿酸血症外来 午前中
糖尿病・代謝内科		角 啓佑	角 啓佑	角 啓佑	角 啓佑	伊藤 祐一	初診は紹介のみ
緩和ケア内科		八杉 晶子	八杉 晶子	八杉 晶子	八杉 晶子	八杉 晶子	※新患は要予約
腎臓内科		山本真理絵	眞野 勉		眞野 勉		
神経内科						守安正太郎	初診は紹介のみ
健診		須田多香子	須田多香子	須田多香子	須田多香子	久留 一郎	事前予約のみ ※乳がん・子宮がん検診を除く
小児科	午前	松浦 宏樹	佐々木佳裕	上山 潤一	松浦 宏樹	佐々木佳裕	[診療時間] 8時30分~
	午後	佐々木佳裕	松浦 宏樹	交替医[急患のみ]	佐々木佳裕	上山 潤一	[診療時間] 15時~17時
専門外来			佐々木佳裕 [アレルギー]	交替医 [乳児健診] [予防接種]	検 査	林原 博 [アレルギー]	[診療時間] 午後~ ※詳細な時間は お問い合わせください
消化器・一般外科		奈賀 卓司	交替医	菅澤 健	谷口健次郎	山本 修	
	専門外来			ストーマ			第1.3週のみ 予約制 [診療時間] 13時~16時
胸部・乳腺外科		万木 洋平	万木 洋平	万木 洋平	交替医	万木 洋平	
	専門外来	リンパ浮腫		リンパ浮腫		フットケア	予約制 ※リンパ浮腫は 月・水曜日の午前中のみ
整形外科		南崎 剛	遠藤 宏治	大槻 亮二	南崎 剛 (最終木曜休診)	奥野 誠之	
		遠藤 宏治	林原 雅子	奥野 誠之	大槻 亮二	林原 雅子	
	専門外来	南崎 剛	遠藤 宏治		南崎 剛 (最終木曜休診)		骨軟部腫瘍
専門外来		林原 雅子		大槻 亮二	林原 雅子	火曜:関節リウマチ外来 木曜:関節外科外来 金曜:手の外科外来	
泌尿器科		磯山 忠広		磯山 忠広	磯山 忠広	磯山 忠広	
		大松留実子	山元 惇史	守安絵美佳	守安絵美佳	守安絵美佳	
放射線科		杉原 修司	杉原 修司	杉原 修司	杉原 修司	杉原 修司	
	専門外来		吉田 賢史	坂口 弘美			放射線治療(完全予約制)
歯科口腔外科			吉田 優	吉田 優	吉田 優	小谷 勇	※金曜日は要相談
耳鼻咽喉科		山本 祐子	交替医		交替医		
眼科			三宅 敦子		三宅 敦子		
婦人科		交替医				交替医	7月~12月のみ月・金

時間 (初診受付) 8時30分~11時 (再診受付) 8時30分~11時 健康診断受付/毎週火・水・金 予約制

診療情報提供書:FAXによる紹介状の送信先



国立病院機構 米子医療センター

〒683-0006 鳥取県米子市車尾4丁目17番1号
TEL.0859-33-7111(代) FAX.0859-34-1580(代)

地域医療連携室

直通FAX:0859-37-3931
直通TEL:0859-37-3930